

中央公民館 耐震診断結果等について

1 耐震診断調査結果

(1) 実施期間

平成 25 年 7 月 2 日～平成 26 年 1 月 31 日

(2) 耐震結果

I_s 値 最小値 0.22 (3 階)

〔	1 階	0.30～0.43	X 方向最小 0.37	-	Y 方向最小 0.30	〕
	2 階	0.49～1.19	X 方向最小 0.53	-	Y 方向最小 0.49	
	3 階	0.22～1.31	X 方向最小 0.68	-	Y 方向最小 0.22	

○ 耐震診断

新耐震基準施行以前の建物について、地震に対する安全性を構造力学上診断するもの。

○ 新耐震基準

昭和 56 年の建築基準法の改正により施行された耐震基準。

新耐震基準の建物は、震度 6 強程度の地震でも建物が倒壊しない耐震性能を有している。昭和 56 年 6 月 1 日以降に建築確認を受けた建物に対して新耐震基準が適用。

○ I_s 値 (構造耐震指標)

耐震診断により、建物の耐震性能を表す指標。地震力に対する建物の強度と粘り強さを求める。

I_s 値が大きいかほど耐震性能が高くなり、値が 0.6 以上で耐震性能を満たす。

※ I_s 値の目安 (平成 18 年国土交通省告示)

$I_s < 0.30$: 地震に対して倒壊または崩壊する危険性が高い
$0.30 \leq I_s < 0.60$: 地震に対して倒壊または崩壊する危険性がある
$0.60 \leq I_s$: 地震に対して倒壊または崩壊する危険性が低い

2 耐震補強工事等費用比較

(平成 26 年 11 月社会教育課)

(千円)

工事種別	設計費	監理費	工事費	合計 (税抜)	その他 (工期等)
① 新築工事 RC 造、2 階建、 約 2,000 m ² ※ 別途②解体費必要	40,500	16,010	740,000 ※ m ² 単価 370 千円	796,510 ②解体含 計 961,480	・工期 26 か月 (設計 8、建築確認、工事 15 か月)
② 解体 ※ アスベスト除去含む	9,490	5,480	150,000	164,970	・工期 11 か月 (設計 4、工事 7 か月) ・アスベスト除去 50,000 含む
③ 耐震改修 I _s 値 0.75	19,200	7,060	747,638	773,898	
耐震改修	9,400	7,060	265,863	282,323	・工期 16 か月 (設計 6、建築確認、工事 8 か月) ・鉄骨屋根ブレース増設、耐震壁増設、柱補強 ・アスベスト除去 50,000 含む
大規模改修	9,800	—	481,775	491,575	・屋上防水、西側外構、ホール改修、空調設備、照明 設備 (トイレ改修は含まず) ・ホール座席 690→438 席に
④ 耐震改修 I _s 値 0.60	18,650	6,208	711,775	736,633	
耐震改修	8,850	6,208	230,000	245,058	
大規模改修	9,800	—	481,775	491,575	